

## < 報告事項 >

### 1. 2018年度職域活動費の活用状況

- (1) 「運動のプロセス」と「成果の見える化」により、職域活動費を効果的に活用した結果、2018年12月末時点で、509会員（15,226名）での活用、25,679千円の支出となりました。
- (2) 2019年1月以降は、退職金獲得運動や高金利ローン借換運動、更には商品説明等を議題とした学習会の開催により、年度予算超過が見込まれますが、ろうきん運動の更なる前進をめざし、予算超過を認める扱いとします。

### 2. つなぐプロジェクト推進運動の展開

- (1) 2018年12月末時点での「つなぐプロジェクト」対象項目の新規実績は39,074件、利用実績に応じた各地域への福祉団体への寄付見込額は3,907千円となっており、着実な運動の成果があらわれています。
- (2) 各店・出張所推進委員会表彰
  - ① 年間目標達成率1位の推進委員会に対し、5万円を贈呈します。
  - ② 年間目標達成率100%超の推進委員会に対し、1万円を贈呈します。
  - ③ 年間目標達成率1位の「本支店・出張所推進委員会」を総代会にて表彰します。
- (3) 地元のNPO団体等への寄付
  - ① 具体的な対象団体・選定時の留意点  
～資料4参照～
  - ② 寄付スケジュールとして、2019年5月～6月に開催される「各店・出張所推進委員会総会」にて寄付先を選定・表彰を実施します。

## < 協議事項 >

### 1. 2019 連合北海道・春季生活闘争における「ろうきん運動」の取組み

- (1) 連合北海道は、第71回地方委員会（2018年12月25日）にて、2019春季生活闘争方針における「ろうきん運動5項目」を確認しました。
- (2) 全道推進会議としては、「2019春季生活闘争地域討論集会」にて、春闘ゾーンにおける「ろうきん運動5項目」の取組強化を確認・実践すべく、労福協を通じた運動を強化していきます。

### 2019 春季生活闘争方針「ろうきん運動 5 項目」の取組み

- ① つなぐプロジェクト推進運動  
つなぐプロジェクトにおける「件数目標」の必達に向け、各会員の「会員自主目標」達成を目指します。
- ② 職域活動費を有効活用した学習会の開催  
「会員自主目標の達成」に向け、職域活動費を有効活用した学習会・セミナー等を開催し、ろうきん運動の前進を図ります。
- ③ 退職金結集運動  
「組合役員によるオルグの実施」「退職後の資産形成に関する学習会（50 歳台を対象とした取組みの強化）の開催」などを通じて、ろうきんへ退職金を結集する運動を展開します。
- ④ 若年層組合員に対する取組み  
新入組合員を中心に、フルキャッシュバックサービスを周知しながら、「口座開設」「給与振込」「財形貯蓄加入」等の取組みを展開します。
- ⑤ 奨学金借換ローンの周知活動  
組合員の可処分所得向上に向け、ア.借換により金利メリットが生じる組合員（固定金利型奨学金を 4 年以上返済）、イ. 毎月の返済額の見直しや新たにボーナス返済を始めた組合員、ウ. 子供の奨学金を借換してあげたい組合員、に対する「ろうきん奨学金借換ローン」の周知活動を継続します。

## 2. 「みんなみんなキャンペーン」周知活動の展開

- (1) 会員組合員の融資資金ニーズに応えるべく、2 月 1 日（水）～7 月 7 日（日）にかけて、無担保融資 3 商品（\*）を対象としたキャンペーン、「みんなみんなキャンペーン」の周知活動を展開します。

\* 対象商品：①轟ローン・轟先生・轟ほっと、②教育ローン（証書貸付）、③無担保住宅ローン

- (2) 広告宣伝のタレントとして、引き続き「木村 愛里」さんが起用されています。
- (3) 本キャンペーンにて、「競争力のある金利水準の周知活動」を通じた「組合員の利用拡大」に取り組むことで、メインバンク No.1 運動を着実に推進します。

以上